

「肥後銀行 D X 計画」

株式会社 肥後銀行
2024年6月28日

1. 経営理念体系

- (1) 九州フィナンシャルグループの理念体系
- (2) 肥後銀行の中期経営計画「躍進」

2. D Xで目指す姿

3. デジタル戦略

- (1) 新たな価値提供に向けた変革
- (2) 変革に向けたリソース分配の最適化

4. D X推進に向けた基盤整備

- (1) マインドセットの転換
- (2) 人材開発
- (3) 組織・制度
- (4) システムインフラ

5. K P I

<参考資料> 2023年度に実現したD X施策の明細

1. 経営理念体系

- (1) 九州フィナンシャルグループの理念体系
- (2) 肥後銀行の中期経営計画「躍進」

2. D Xで目指す姿

3. デジタル戦略

- (1) 新たな価値提供に向けた変革
- (2) 変革に向けたリソース分配の最適化

4. D X推進に向けた基盤整備

- (1) マインドセットの転換
- (2) 人材開発
- (3) 組織・制度
- (4) システムインフラ

5. K P I

＜参考資料＞ 2023年度に実現したD X施策の明細

九州フィナンシャルグループの一員として、地域の未来を創造することをパーパスとしています。

PURPOSE

パーパス
(存在意義)

私たちは、お客様や地域の皆様とともに、
お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を育て、守り、引き継ぐことで、
地域の未来を創造していく為に存在しています

VISION

ビジョン
(目指す姿)

お客様、地域、社員とともに、より良い未来を創造する
『地域価値共創グループ』への進化

VALUE

バリュー
(価値観・行動指針)

誠実 … 高い倫理感を持って行動する
主体性 … 自ら考え、失敗を恐れずに行動する
チームKFG… 志を一つに、グループの最適を考えて行動する

社会的・経済的な不確実性が高まる中、私たちのパーパスを体現すべく、デジタルテクノロジーを活用したビジネスモデル転換を通じて、地域・お客様・行員の「躍進」に貢献します。

地域価値の向上（熊本県の躍進）

- ◆ 熊本県G R P : 7.0兆円 (+0.3兆円)
(製造業、農林漁業等の主要産業の振興)

顧客価値の向上（お客様の躍進・幸福）

- ◆ 個人・法人顧客総合満足度 : 各90% (+5%)
- ◆ 法人経常利益増加率 : +30%
- ◆ 個人金融資産額増加率 : +10%

「パーパス」を軸に、地域・お客様・行員の「躍進」に貢献する

K F G バリュー

パーパス

2030年ビジョン

経営品質

企業理念

健康経営

行員価値の向上（行員の躍進・幸福）

- ◆ エンゲージメントスコア（総合） : 75P (+4P)
- ◆ 健康経営(ホワイト500認定) : トップ10以内
- ◆ 人的投資 : 9.5億円 (+30%)
- ◆ 専門人材 : 650名 (2.5倍)

1. 経営理念体系

- (1) 九州フィナンシャルグループの理念体系
- (2) 肥後銀行の中期経営計画「躍進」

2. **D X**で目指す姿

3. デジタル戦略

- (1) 新たな価値提供に向けた変革
- (2) 変革に向けたリソース分配の最適化

4. **D X**推進に向けた基盤整備

- (1) マインドセットの転換
- (2) 人材開発
- (3) 組織・制度
- (4) システムインフラ

5. K P I

＜参考資料＞ 2023年度に実現した**D X**施策の明細

K F Gグループのパーパス体现のために、肥後銀行は『デジタル先進企業』に向けて躍進し、そのための変革に全社を挙げて取り組んでいきます。

DXで目指す姿 (2030年)

テクノロジーとデータを駆使し
地域の未来を創造する『デジタル先進企業』

デジタル戦略

顧客価値 新たな価値提供
地域価値 に向けた変革

- デジタルサービスの利便性と、人による高付加価値を融合させ、優れたお客様体験（CX）を提供
- デジタルテクノロジー活用による地域社会の課題解決

変革のための
リソース分配最適化

- 営業店における事務作業の撤廃と本部業務の徹底した自動化、簡素化
- 「人とAIが協働する銀行運営」の実現

人材開発

- 価値を創り、届ける人材
- 確保/育成/定着のための働き方

行員価値

- CX起点の組織態勢
- DX推進を加速するルール整備

組織・制度

システム

- 安全性と生産性の追求による持続可能なシステム基盤の構築

マインドセット

- お客様起点
- データドリブン
- アジリティ
- 挑戦する風土
- オープンイノベーション

基盤整備

1. 経営理念体系

- (1) 九州フィナンシャルグループの理念体系
- (2) 肥後銀行の中期経営計画「躍進」

2. D Xで目指す姿

3. デジタル戦略

- (1) 新たな価値提供に向けた変革
- (2) 変革に向けたリソース分配の最適化

4. D X推進に向けた基盤整備

- (1) マインドセットの転換
- (2) 人材開発
- (3) 組織・制度
- (4) システムインフラ

5. K P I

＜参考資料＞ 2023年度に実現したD X施策の明細

従来からの強みである“人”による価値提供に加え、データ基盤の構築・活用を通じたデジタルサービスの利便性により、優れたお客様体験を提供します。

個人・法人の利便性向上に向けたデジタルプラットフォームの導入・機能拡張

個人向けバンキングアプリ

- ・送金 ・カード申込 ・住所変更 ・カードロック
- ・KFG証券オンライントレーディング連携
- ・ポイントサービス・口座開設（クレカ等同時申込）

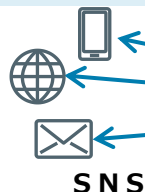


法人ポータルサイト

- ・残高入出金照会(他行含) ・チャット/ファイル授受
- ・来店/相談予約 ・各種WEB申込受付
- ・電子交付サービス連携 ・資金動態ダッシュボード



最適な非対面
接点による営業
(1to1マーケティング)



深化

データ基盤

探索

マネーとデータの地域内還流

「くまモン!Pay」の地域通貨としての地位を確立し、地域経済活性化の基盤インフラに進化

くまモン!Pay

法人

- 全国チェーンの加盟店化
- 送客・マーケティング支援
- デジタル給与対応

個人

- 販促/利用者基盤確立
- 全IC機能のPay搭載
- 更なる機能追加・拡充

自治体

- 地域通貨・地域振興券
- 給付金・行政施策支援
- 自治体データ連携

最新のデジタルテクノロジーとデータを活用し、地域企業の皆様や、地方公共団体を含む地域社会の課題解決に取り組んでいきます。

地域社会のDX支援

①地域企業のお客様へのご支援

- ✓ 生成AI活用やBPR実施のノウハウを活用した、DXコンサルティングサービスの強化
- ✓ グループ会社や提携企業等と連携した、ICTに関する課題解決支援
- ✓ 銀行内外のデータを活用し、幅広いお客様の幅広い資金需要をサポート
- ✓ 銀行グループのデジタルチャネルを通じたマッチングサービスによる商流支援 等

②地方公共団体のお客様へのご支援

- ✓ 地方公共団体のDX支援、業務効率化支援
- ✓ 銀行とのデータ授受の効率化

地域社会の課題解決

①新規事業開発への取り組み

- ✓ 地域の持続可能性向上に向けた新規事業開発



電気、エネルギー等の使用量データから
CO₂排出量を算定するサービス



賞味期限が近い食材などを
割安で販売する地域のロス解消事業

- ✓ 少子高齢化対策やデジタル弱者の包摂

②技術革新へのキャッチアップ

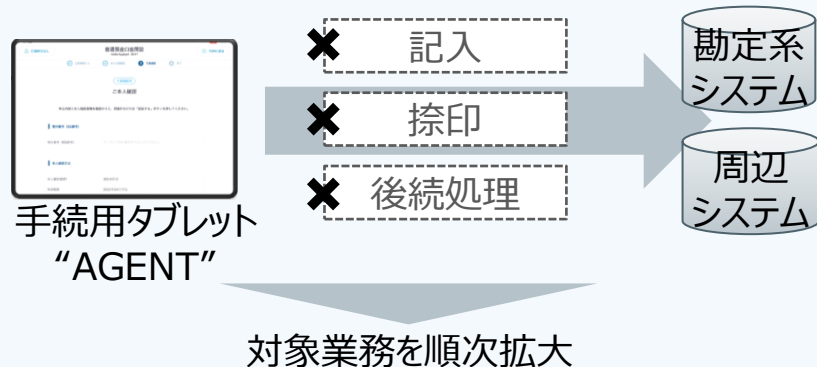
- ✓ マイナンバーの活用、生成AI/web3技術等、最新技術の活用ノウハウを蓄積し地域へ展開

営業店における事務作業を削減し、行員がお客様サービスに寄り添える環境をつくることで、営業店を「お客様に価値を届ける場」へと転換していきます。

営業店業務改革

① 業務プロセスの“自動化”

手続用タブレット“AGENT”による記入・捺印レスの実現と、後続処理の完全自動化



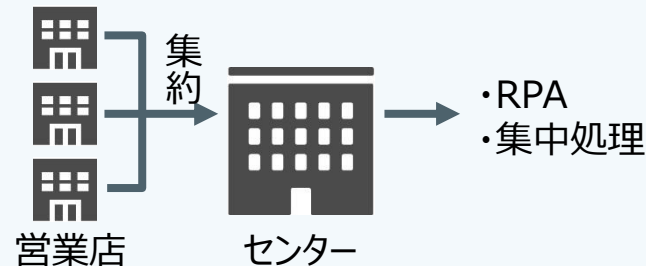
② 業務プロセスの“最適化”

デジタルチャネルへの取引移行

- ✓ インターネットバンキング、アプリ等でのお取引を促進
- ✓ 紙帳票を電子データでお届け

本部への業務移管

- ✓ 電子化、非対面化の難しい業務の一括処理



営業店行員の提供価値は、事務処理からコンサルティング等の課題解決支援業務へ

業務プロセスを自動化し、行員がデジタル企画・開発に集中できる環境をつくることで、本部を「お客様への価値を創る場」へと転換していきます。

本部業務改革

フェーズ1

■ 業務アセスメント

- ✓ 効率化できる余地の特定
- ✓ 効率化効果の定量化
- ✓ 廃止、自動化手段の検討

■ ノウハウの内製化

【実施済】

約4万時間分の
効率化余地を確認

【アセスメント】
現状把握

フェーズ2

【進行中】

■ 業務廃止・自動化に着手

- ✓ 生成AI、AI-OCRの活用
- ✓ RPAによる業務自動化
- ✓ データ活用による報告・会議の効率化
- ✓ ツールによるコミュニケーション高度化 等

■ 人員再配置の実行

【加速】

人員捻出と再配置

【地域還元】

地域へのノウハウ展開

フェーズ3

■ DXコンサルティングのメニュー化

■ 地域DX推進への課題解決

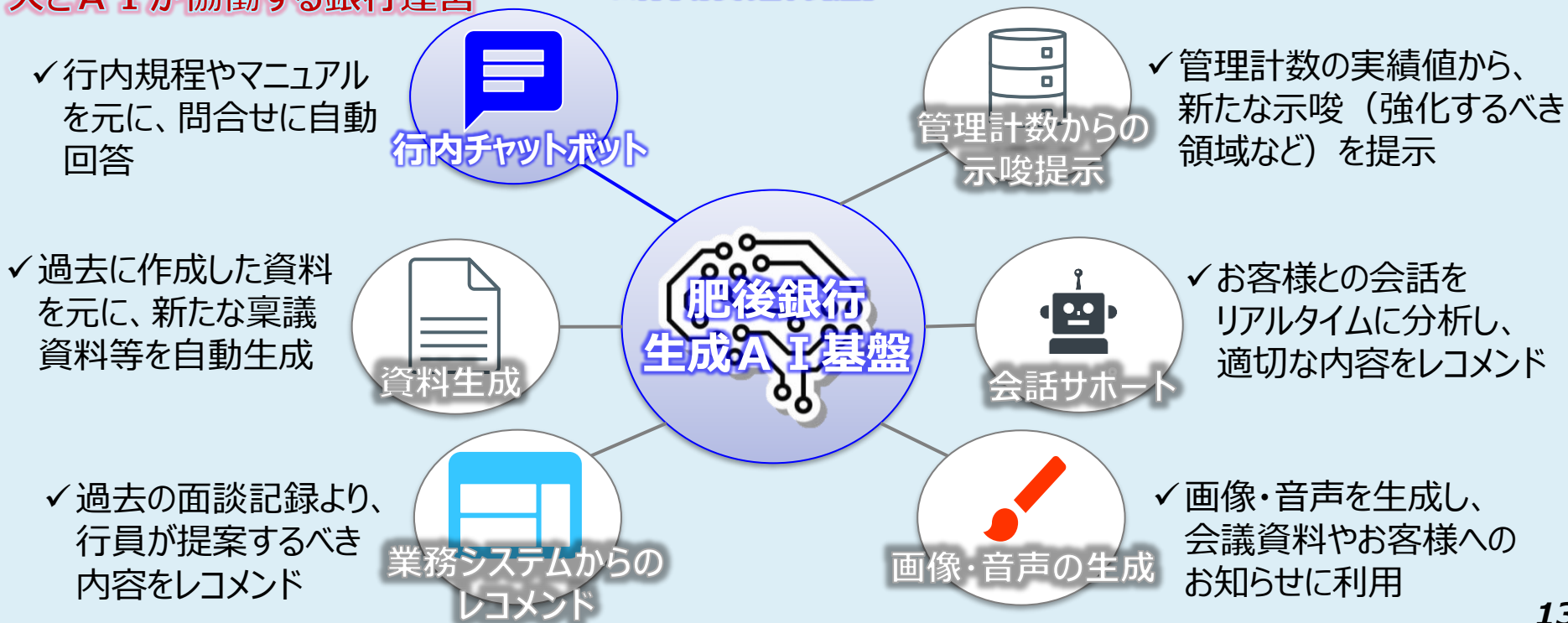
- ✓ 人材、情報、資金の不足解消

本部行員の提供価値は、事務・管理からお客様向けサービス企画・運営業務へ

生成A I を積極的に業務プロセスに適用し、「人とA I が協働する銀行運営」を目指します。

人とA I が協働する銀行運営

※青字は実現済の機能



1. 経営理念体系

- (1) 九州フィナンシャルグループの理念体系
- (2) 肥後銀行の中期経営計画「躍進」

2. D Xで目指す姿

3. デジタル戦略

- (1) 新たな価値提供に向けた変革
- (2) 変革に向けたリソース分配の最適化

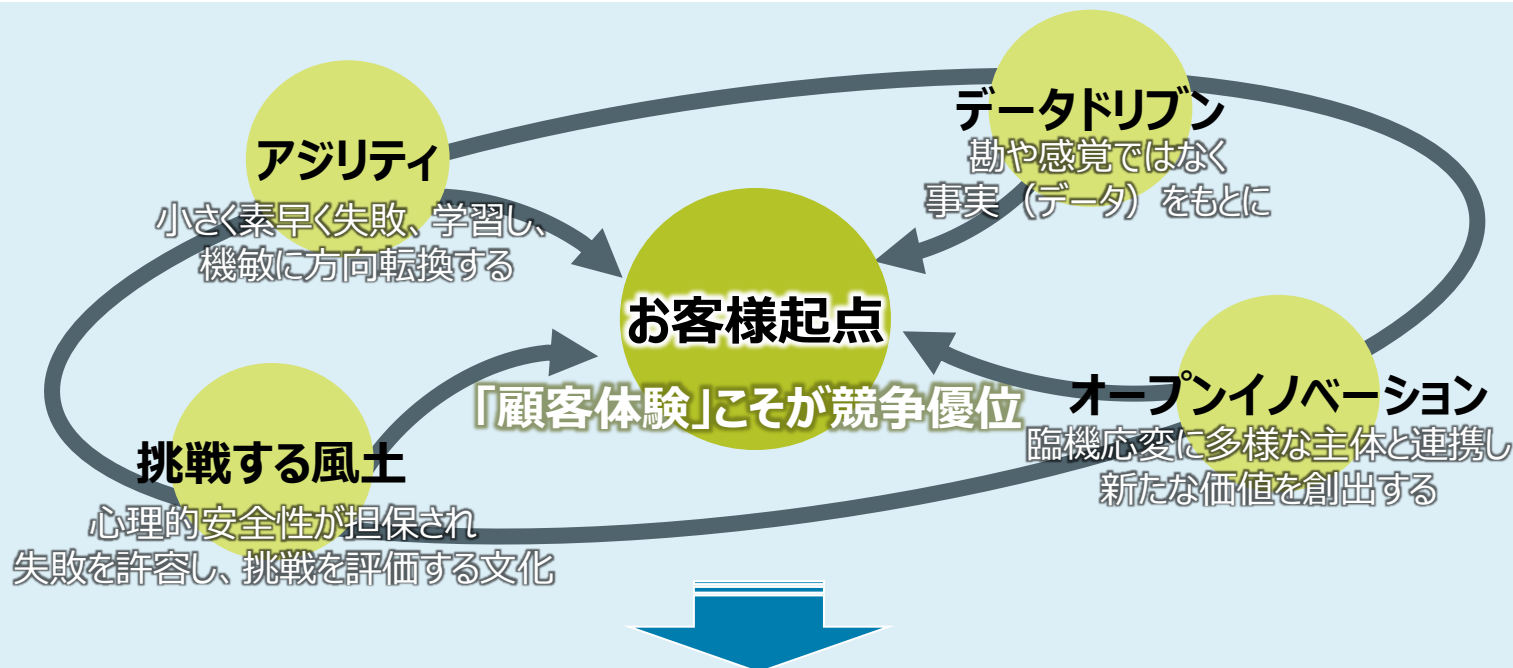
4. D X推進に向けた基盤整備

- (1) マインドセットの転換
- (2) 人材開発
- (3) 組織・制度
- (4) システムインフラ

5. K P I

＜参考資料＞ 2023年度に実現したD X施策の明細

デジタルテクノロジーとデータを使いこなし、「デジタル先進企業」へと進化するために、全社的なマインドセットの転換を図るとともに「お客様起点の施策」を推進します。



お客様起点で実現した施策

肥後銀行アプリ、CO₂排出量算定システム（炭削くん）等

今後予定している施策

くまモン!Pay、地域口ス解消アプリ（かせする）等

デジタルテクノロジーとデータを使いこなし、「デジタル先進企業」へと進化するために、全社的なマインドセットの転換を図るとともに「お客様起点の施策」を推進します。

お客様起点

- ・「顧客体験」が競争優位を生む。全役職員は、「お客様第一主義」をスローガンとして掲げるだけでなく、「顧客体験」を起点として組織・人を運営し、商品やサービスをゼロベースで設計する。

データドリブン

- ・データはお客様の声。勘や感覚ではなく、データを読み解き、データに基づいて判断することで、お客様の潜在的なニーズに対応する。
- ・バイアスや希望的観測を排除し、事実に基づく判断を行う。

アジリティ

- ・「顧客体験」に単一の正解は無く、改善のためには、計画よりも実験することに価値がある。小さく素早く失敗、学習し、機敏に方向転換することでこそ正解に近づく。

挑戦する風土

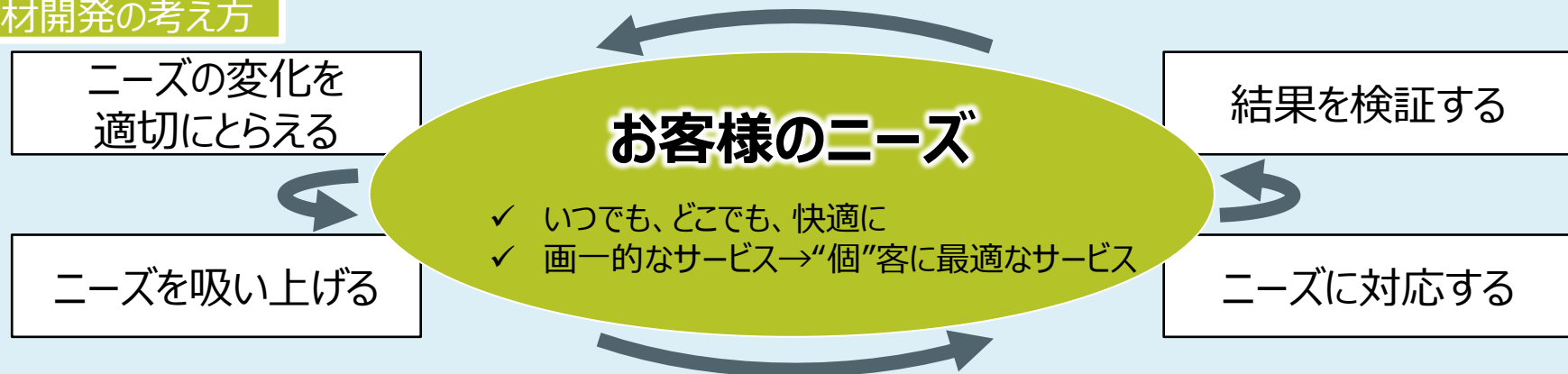
- ・失敗を許容し、挑戦を評価する文化を醸成する。
- ・心理的安全性が担保され、多様な人材が、それぞれの持ち場で挑戦できる文化を醸成することで、変化への対応力を高める。

オープン イノベーション

- ・自前主義に固執せず、お客様への価値提供を起点に多様な主体と連携する。
- ・社内外から市場価値の高い人材を惹きつけ、定着させていくために、人材中心で考え、魅力的な成長・活躍の機会を提供していく。

常にお客様のニーズを起点とし、行員に求められる能力・スキルの変化に対応するため、DX推進人材として「価値を届ける人材」・「価値を創る人材」を育成・採用していきます。

人材開発の考え方



DX推進人材

“価値を届ける人材”

- ✓ DXを含むお客様の課題を把握
- ✓ データに基づく課題分析
- ✓ 最適なソリューションを組合わせて提案 等

“価値を創る人材”

- ✓ デジタルサービス企画・開発・運用
- ✓ UI／UXデザイン
- ✓ 最適なシステム構成とセキュリティの担保
- ✓ 新規事業の開発 等

DX推進に必要な7つのスキルを「DX推進人材」として定義し、基準を満たす人材を育成・採用していきます。

DX推進人材の体系

“価値を届ける人材”

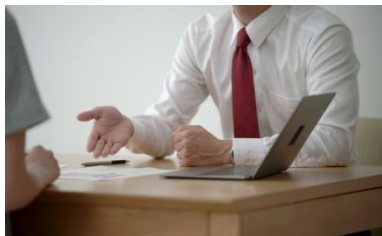
DX
コンサルタント

主に本部の専門チームに所属し、お客様に向けた総合的なDX提案を実施

専門性

DX
アドバイザー

主に営業店に所属し、お客様のDXに関する課題の把握、吸い上げを実施



“価値を創る人材”

ビジネス
アーキテクト

目的設定から導入、導入後の効果検証まで関係者をコーディネートしながらDXを推進する人材

デザイナー

ビジネスや顧客の視点から製品やサービスの方針・開発プロセスを策定し、それらに基づくデザインを行う人材

データ
サイエンティスト

業務変革や新規ビジネスに向け、データを収集・解析、仕組みの設計・実装・運用を担う人材

ソフトウェア
エンジニア

デジタル技術を活用した製品・サービス提供のためのシステムやソフトウェアの設計・実装・運用を担う人材

サイバー
セキュリティ

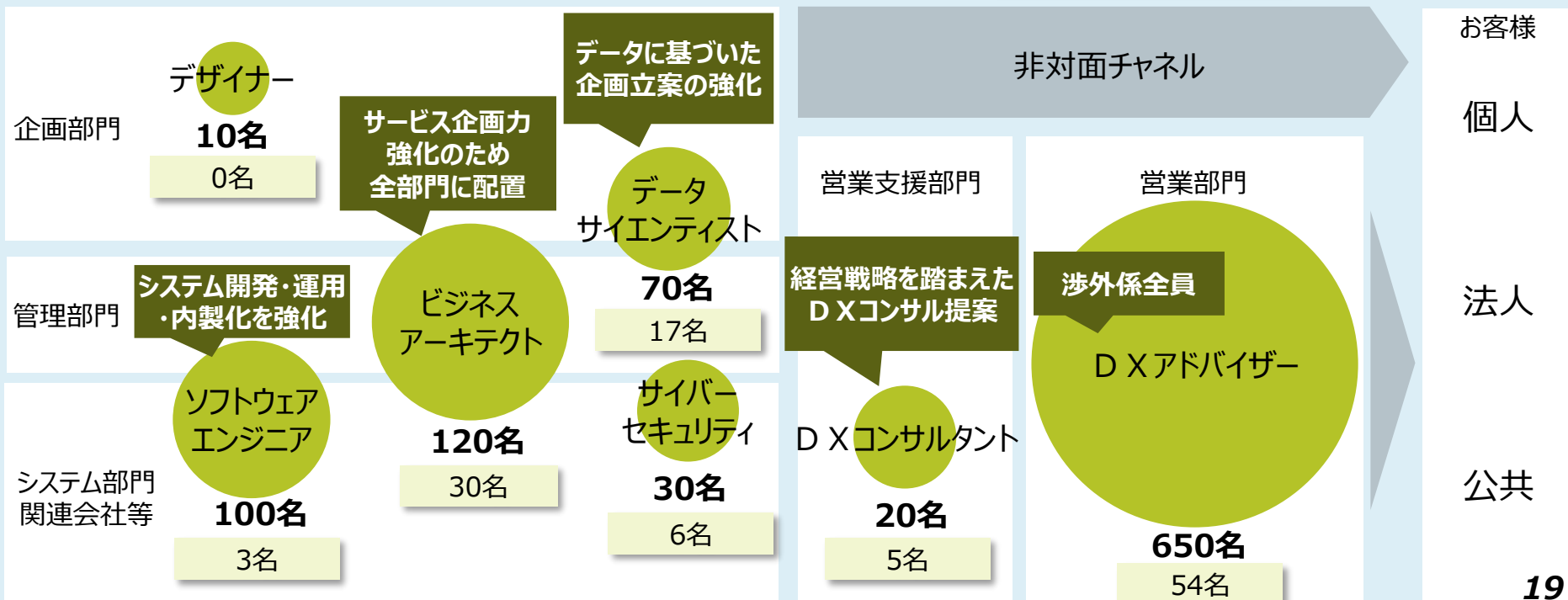
DX推進におけるサイバーセキュリティリスクの影響を抑制する対策を担う人材

2030年度までに、行内各セクションに「D X 推進人材」を約1,000名配置し、デジタルサービスの企画・開発力、お客様への提案力を強化します。

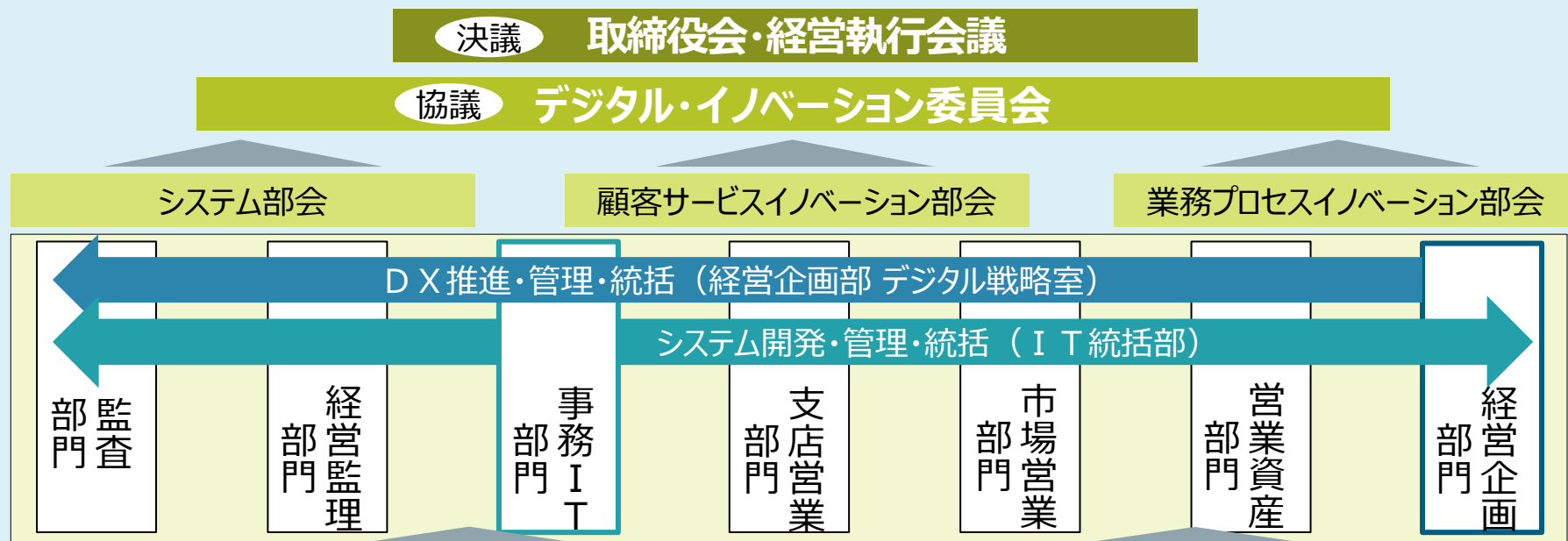
D X 推進人材の配置

2030年度目標1,000名

2023年度実績115名



代表取締役頭取を委員長とする「デジタル・イノベーション委員会」にて、D Xに関する方針・戦略策定・進捗管理等を組織横断的に議論しています。



連携・協働

知見・提案



九州デジタルソリューションズ

連携協定先を始めとする
外部パートナー・ベンダー等

「デジタル先進企業」への進化に向け、多様な人材が有機的に活躍し、プロジェクトを円滑に運営可能にするためのルールを整備します。

デジタル先進企業への進化

人材の有機的活躍

プロジェクトベースの働き方

- 人事異動に依らない、プロジェクト単位の働き方制度を整備

若手人材の活躍

- デジタル専門職での新卒採用を開始し、若手人材の活躍を推進

多様なワークスタイルへの対応

- フルリモート/時短勤務など、多様なワークスタイルへの対応を推進し、全国各地に居住する高度専門人材を獲得

プロジェクト運営の円滑化

デジタル人材レベルの可視化

- DX推進人材のレベルを判定・可視化し、デジタル関連業務への適切な人材配置を実現

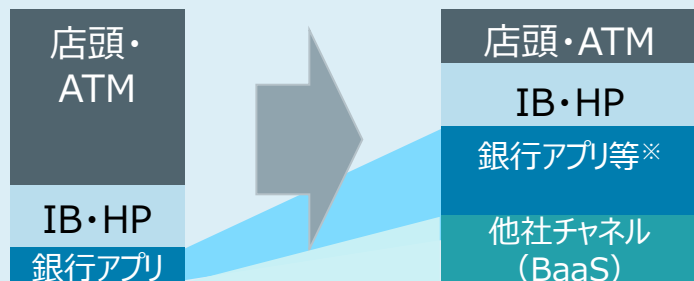
アジャイルプロジェクトへの対応

- アジャイルプロジェクトにおける意思決定ルールを明文化し、成果が不確実なプロジェクトを適切に統制

お客様取引の変化を踏まえた顧客体験の向上を図りつつ、安全性を担保する持続可能なシステムインフラの獲得を目指します。

基本的な考え方

顧客体験向上



情報資産



高度専門人材の
確保・育成

I D 統制/資源管理/ログ分析 など



お客様



外部企業/団体



行内

顧客体験向上

- ✓ あらゆるチャネルでお客様のU I /U Xを最重要に考え、設計します。
- ✓ 銀行以外の様々なチャネルに対して、B a a S形態によるサービスの提供を進めます。

※技術革新による新たなユーザーインターフェースを含む (例：V R、音声等)

安全で持続可能なシステムインフラ

- ✓ ゼロトラスト・セキュリティ態勢の構築を目指し、I D 統制/資源管理/ログ分析など、必要な施策を実施します。
- ✓ セキュリティ確保のため、高度専門人材の確保・育成に継続的に取り組みます。

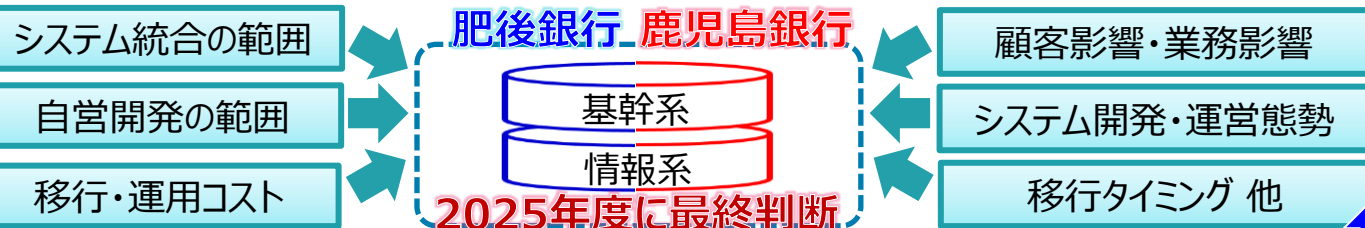
九州フィナンシャルグループ企業間での基幹系システム統合、情報系システムの共通化を軸に、サービスチャネルの充実と、そのためのデータベース基盤の整備を行います。

サービスチャネルの充実



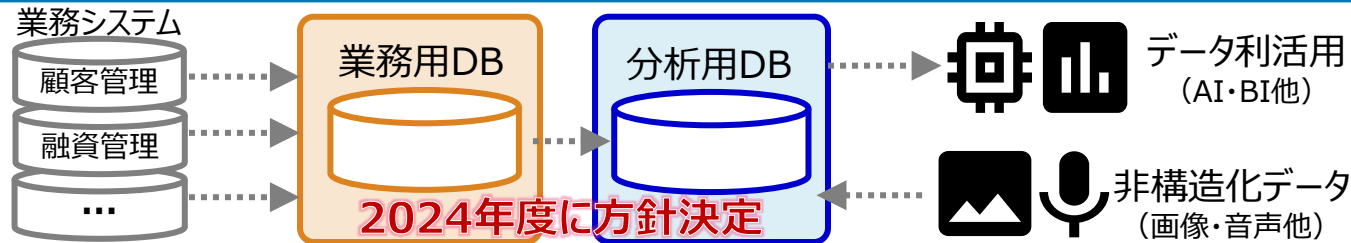
タッチポイントとしてのデジタルチャネルを充実させながら、重要な相談は営業店で対応

基幹系システムのグループ内統合・情報系システムの共通化



基幹系システムと情報系システムを、様々な要素を勘案しつつグループ内で最適統合および共通化

データベース基盤の刷新



業務システムデータ以外にも非構造化データを分析し、更なるデータ利活用が可能な基盤に刷新

経営資源の戦略的な配分に向け、サービスや業務に応じてシステムを競争・非競争領域に分類し、競争領域への投資割合40%超を目標に重点投資します。

システム分類と構築方針

お客様向け
サービス

競争領域

- ✓ 肥後銀行アプリ、手続用タブレット等

内製化・独自化
+
アジャイル

非競争領域

- ✓ 共通機能（全銀、デビット、認証、A T M等）

他社連携
標準化
共通化

【投資効果事後検証】
ROI、管理計数、対リスク評価

行内業務

独自化とパッケージ
をベストミックス

- ✓ 情報系システム等

- ✓ 庶務系システム等（労務管理、経費精算等）

インフラ

- ✓ 勘定系システム等

フロントシステムの要件 + 信頼性・堅牢性・正確性

1. 経営理念体系

- (1) 九州フィナンシャルグループの理念体系
- (2) 肥後銀行の中期経営計画「躍進」

2. D Xで目指す姿

3. デジタル戦略

- (1) 新たな価値提供に向けた変革
- (2) 変革に向けたリソース分配の最適化

4. D X推進に向けた基盤整備

- (1) マインドセットの転換
- (2) 人材開発
- (3) 組織・制度
- (4) システムインフラ

5. K P I

＜参考資料＞ 2023年度に実現したD X施策の明細

持続可能な地域社会の実現に向け、当行財務指標のほか、地域価値、顧客価値、行員価値の向上をK P Iとして設定しています。

指 標		2023年度		2026年度計画
		計画	実績	
地域価値の向上	熊本県GDP	5.6兆円	未公表	7.0兆円
顧客価値の向上	個人のお客様	85%	88%	90%
	法人のお客様	85%	81%	90%
行員価値の向上	エンゲージメントスコア	72 P	71 P	75 P
コア業務純益		171億円	163億円	222億円
顧客向けサービス業務利益		82億円	115億円	159億円
当期純利益		125億円	138億円	170億円
役務利益比率		15.2%	17.3%	13.0%
OHR		65.7%	80.5%	64.5%

総合的な管理指標としての「D X 推進指標」に加え、デジタル戦略、D Xに向けた基盤整備の観点からもK P Iを設定しています。

項目	指 標	2023年度		2026年度計画
		計画	実績	
総合指標	D X 推進指標（平均値）	3.0	3.0	4.0
新たな価値提供 に向けた変革	デジタルサービスの延べ利用者数 ※個人IB、通帳アプリ、Hugmeg、 くまモンのICカードチャージアプリ	25万人	26万人	40万人 (肥後銀行アプリ)
変革のための リソース分配最適化	成長・戦略分野への配置転換	260人	262人	55%（+6%） 顧客関係強化人員比率に変更
	事務削減時間（累計）	▲50万時間	▲51万時間	▲65万時間
	ペーパーレス（2019年度比） ※用紙印刷費の削減率	▲28.8%	▲23.1%	▲28.5%
D X 人材育成	D X 推進人材	100人	115人	437人
	I T パスポート取得	1,000人	1,009人	1,300人 IPA上位資格含む
	専門人材の採用人数	15人	18人	30人
システム基盤整備	競争領域への投資割合（新設）	—	24%	40%

1. 経営理念体系

- (1) 九州フィナンシャルグループの理念体系
- (2) 肥後銀行の中期経営計画「躍進」

2. D Xで目指す姿

3. デジタル戦略

- (1) 新たな価値提供に向けた変革
- (2) 変革に向けたリソース分配の最適化

4. D X推進に向けた基盤整備

- (1) マインドセットの転換
- (2) 人材開発
- (3) 組織・制度
- (4) システムインフラ

5. K P I

＜参考資料＞ 2023年度に実現したD X施策の明細

区分		実施した施策	内容	実施時期	ニュースリリース
新たな価値提供に向けた変革	個人のお客様	「こたら」サービスへの対応	「Bank Pay」アプリを利用した、 当行口座での「こたらサービス」取扱を開始	2023/4	https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=2077
		有人チャットサービスの開始	当行ホームページ等のA Iチャットボットから遷移し、 お客様のお問い合わせにコンタクトセンターの オペレータがチャットで応対する「有人チャット」を開始	2023/4	https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=2085
		個人インターネットバンキングのU I改善	個人インターネットバンキングの スマートフォン画面デザインのリニューアルを実施	2023/12	—
		オープンA P Iサービスの機能改善	幅広いお客様のニーズにお応えするため、 オープンA P Iの認証方法としてS M S認証を追加	2023/12	https://www.higobank.co.jp/newsrelease/detail?id=3869
		新「肥後銀行アプリ」の取扱開始	「ひざん通帳アプリ」をリニューアルした新「肥後銀行 アプリ」の取扱を開始	2024/3	https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=2654
	法人のお客様	肥銀ビジネスインターネットバンキングの 機能改善	お客様の声に基づく機能改善を8項目実施	随時	—
		「職場のまどぐち」の機能拡充	肥後銀行公式L I N Eからのログインを 可能にしたほか、掲載コンテンツを追加	2024/1	—

(参考) 2023年度に実現したD X施策の明細

区分		実施した施策	内容	実施時期	ニュースリリース
新たな価値提供に向けた変革	地域課題解決	D Xコンサルティングサービスの展開	経済産業省「D X 認定」取得支援コンサルティングサービスを実施	随時	https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=2622
		熊本県主催D X マッチング商談会	「くまもとD X 推進コンソーシアム」の事務局として、D X ソリューションのマッチング商談会を開催	2023/10	—
		「くまモンのI Cカード」のローソンでの取扱開始	熊本県内のローソン全店舗において「くまモンのI Cカード」の取扱を開始	2023/12	https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=2538
	新規事業	株式会社九州みらいCreationによるE Cモール「よかもーる」のオープン	熊本、鹿児島、宮崎（南九州3県）の地域産品を取り扱うE Cモールを立ち上げ	2023/6	https://ssl4.eir-parts.net/doc/7180/ir-material32/208375/00.pdf
		CO ₂ 排出量算定システム「Zero-Carbon-System（炭削くん）」の開発	お客様の脱炭素経営支援および地域のカーボンニュートラル実現を目的として、CO ₂ 排出量算定システム「Zero-Carbon-System（炭削くん）」を開発	2024/1	https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=2602
	営業支援	C R Mシステムの機能改善	行内ユーザーの声に基づき、C R Mシステムの機能追加や改善を実施	随時	—
		預かり資産ご提案ツールの更改	お客様への営業品質向上のため、資産ポートフォリオ提案ツールをリプレイス	2024/2	—

(参考) 2023年度に実現したD X施策の明細

区分		実施した施策	内容	実施時期	ニュースリリース
変革のためのリソース分配最適化	営業店	手続用タブレット「AGENT」の継続的な機能改善	事務部門、システム部門からなる内製化チームのアジャイル開発により、継続的かつスピーディーな機能改善を実施	随時	—
		金銭信託サービスの申込電子化	金銭信託サービス新規申込のタブレット受付を開始	2023/9	—
		九州FG証券口座開設タブレット受付の機能改善	九州FG証券口座開設業務のタブレット受付機能に関する継続的な改善を実施	随時	—
		媒体によるデータ授受の取扱終了	お取引先のデジタル化・DX推進を目的とし、FD等媒体によるデータ授受の取扱を終了	2025/3以降	—
		ミドルオフィスセンターの試行開始	大量事務の処理を本部集中し、営業店事務の削減および効率化を目的に試行開始	2023/5	—
		お客様のデジタルシフト支援推進	お客様取引の電子化推進に向けた推進体制を構築するとともに、行員の基礎的なデジタル技術や当行デジタルサービスに関する知識習得を支援	随時	—
	全行	生成AI（ChatGPT）の実証実験開始	チャットボット型生成AIの試用環境を整備し、銀行業務における実証実験を開始	2023/10	https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=2420
		業務用スマホアプリの開発	業務用スマートフォンで、Outlookと連動するメール・予定表アプリを内製開発し、利用を開始	2023/9	—

区分		実施した施策	内容	実施時期	ニュースリリース
基盤整備	マインドセット	行員のマインドセット定着に向けた各種セミナーの実施	下記テーマにて、全行員を対象にしたセミナーを開催 ・デザイン思考、アジャイル思考の実践 ・基礎的なD Xリテラシー ・D Xの本質を学ぶ ・世界の先進事例の事例学習 ・論理的思考	随時	—
	人材育成	デジタル技術の活用レベル向上に向けた各種研修の実施	下記テーマにて、研修を開催 ・R P A開発者研修 ・B P R内製化研修 ・要件定義研修 ・データ分析コンペティション研修 ・D Xアドバイザー研修 ・メタバース活用研修	随時	—
		各種学習支援施策の実施	各自の自主的な学習を支援する各種施策を展開 ・動画学習サービス「Udemy Business」の利用推奨 ・情報セキュリティマネジメント学習教材の斡旋 ・I Tパスポート取得支援セミナーの実施	随時	—
		健康増進アプリの導入	運動や食事改善等を支援するスマートフォンアプリを導入し、利用実績に応じてポイントを付与する等の利用促進施策を展開	2023/10	—
	システム	システムスクラップの推進	システムの利用実績や重複の有無を調査し、削減可能なシステムのスクラップを実施	随時	—

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

本件に関するお問い合わせ先
肥後銀行 経営企画部 デジタル戦略室
TEL 096-326-8678

以 上